

平成 18 年度学会賞等各賞受賞者が決定

日本薬物動態学会細則並びに学会賞等選考規定に基づいて審査し、平成 18 年度学会賞、奨励賞、及び北川賞受賞者を下記のように選定いたしました。

なお、功労賞については推薦候補の申請がありませんでしたので、審査なしということになりました。

受賞講演、授賞式は、今秋開催される第 21 回日本薬物動態学会年会にて行われます。

学会賞

池田 敏彦（三共株式会社薬剤動態研究所）

研究題目「新規な薬物代謝反応および代謝酵素機能に関する研究」

後藤 順一（東北大学病院）

研究題目「薬物動態基盤解析法の構築とその応用に関する研究」

奨励賞受賞者

加藤 将夫（金沢大学大学院自然科学研究科）

研究題目「トランスポーター・アダプター分子群による薬物動態制御」

川上 茂（京都大学大学院薬学研究科）

研究題目「糖修飾リボソームによる細胞選択的遺伝子ターゲティングシステムの開発」

楠原 洋之（東京大学大学院薬学系研究科）

研究題目「腎尿細管、血液脳関門において取り込みおよび排出に働く薬物トランスポーターの分子実体と機能の比較論的解析」

北川賞受賞者

岩崎 一秀（ファイザー株式会社中央研究所薬物動態研究部）

研究題目「新薬開発における薬物動態研究の重要性」

（五十音順）